

# うさぎの耳

聴くことは社会貢献の第一歩！

83号 (2024年1月1日)  
福津市社会福祉協議会内

## ◇ 会からのお知らせ

去年は、予想よりも早く傾聴依頼があり何れ順調に活動をしています。特に水光苑は初めての活動場所で、また介護老人老保健施設は、是れまで体験していない施設であるだけに、新鮮味がありました。

新たな気持で傾聴活動に邁進したいところです。



## ◇ 会からの連絡事項

- (1) 三愛の傾聴活動を、11月から開始しました。火曜日、金曜日、13:30～1時間。3名までです。水光苑の活動は、施設側の要請により原則第2週、第4週のみに行いました。
- (2) 定例会出席者は、スケジュール表に活動日を記入して下さい。
- (3) 傾聴カフェ、1月は5日10名参加でした。2月は2日、3月は1日、4月は5日に行います。

## ◇ 12月定例会の話題

11月定例会は、忘年会と一緒にしました。参加者は、8名でした。

- (1) 在宅傾聴の依頼がありました。
  - ① 男性、94歳、東福間の在宅傾聴は、11月から開始しました。
  - ② 津屋崎在住の女性、在宅傾聴の依頼がありました。現在調整中です。

## ◇ こんな活動をしました

- ① 話し好きな方と1時間たっぷり話しました。仕事で大怪我したこと、絵の間違い探しに夢中になっていることなど。
- ② 自宅では、菜園、散歩など多忙であること、頭を使ってボケないようにしている。
- ③ 女性2名の方と施設を利用していること、家庭のこと、子供のことなどを話されました。
- ④ 男性3名の方とグループで、終戦のこと、子供の頃のこと、価値観の変化について話されました。
- ⑤ 3階で2名の方と話しました。その内の一人は諫早出身で昭和25年の大水害に

ついて話されました。印象が強かったようです。

- ⑥ 2階で以前話をした方と話しました。前回より穏やかな表情でした。
- ⑦ ご主人の転勤の話、博多に住んでいたこと、デパートに良く行ったことなど、もっと話したいと言って頂きました。
- ⑧ 3人で、一人の方と話しました。丁寧な対応で時間がオーバーするほどでした。
- ⑨ 二手に分かれての傾聴。高齢者のため耳が遠く、話が弾みません。歌ったり、想い出話になりました。
- ⑩ 穏やかな話で、話題を投げかけると場面が広がり、楽しかったことなどを話しました。
- ⑪ 雪が降る寒い日のことを話題にしました。一度も外出していない、太陽に当たっていないなどの不満を話されました。
- ⑫ この施設の食事が美味しく何時も完食ですとのこと。
- ⑬ 週5日施設を利用しているとのこと。家にいるより、気分転換になる。主人と二人暮らしで、主人が何でもやってくれて助かるとのこと。

#### ◇ 会員の広場

生きるとは楽しむ事か顔の艶	わ 子
傾聴という楽しみを知っている仲間	や す こ
失いしものを数えず今生きる	善 教
初参り身の丈ほどの夢ひとつ	あおぞら

木陰から香りを放つギンモクセイ秋の深まり我が身に受ける やま

